

体の症状と心の病気

さまざまな体の不調

不眠、頭痛、肩こり、体のだるさ、耳鳴り、胸痛、胸が苦しい、吐き気、お腹が張る、腹痛など、年齢を問わず、さまざまな体の不調が起こります。

これらの不調は、自覚的な症状が中心です。周囲の人にはなかなか不調を理解してもらえないことがあり、血液検査、心電図、レントゲン検査、内視鏡検査などの検査をしても特に異常が見つからないこともあります。このような場合には、精神的な病気を考える必要があります。



しかし、一口に心の病気と言っても多くの種類があり、その大部分に体の症状が現れると言ってもいいくらいです。

高齢者の場合は…

高齢者の場合には、うつ病と認知症に注意する必要があります。

どちらの病気も一般的には体の症状が中心の病気とは考えられないと思いますが、気分や記憶の問題よりも体の症状が主に現れることがあります。

若年者の場合は…

若年者の場合には、体の症状のみが現れることはそう多くありませんが、うつ病も考えるべき疾患です。

また、統合失調症の初期症状としての体の症状が出現する場合もあります。



精神科医師
たきむら かずのり
瀧村 和則

その他にも、適応障害、アルコール依存症、頭部外傷の後遺症など、様々な病気で体の症状が現れることがあります。

体の不調が続いたら

体の不調が続くのに検査を繰り返しても何も異常がない場合には、心の病気によって起こる体の症状の可能性もある、ということをお頭の片隅に入れておくのも大切かと思えます。

西伯病院人事異動

12月1日付

○昇任

金本 真知子 (主任看護師)

力作、熱演を披露

西伯病院文化祭

11月21日、西伯病院2階の多目的運動室を中心に、平成20年度西伯病院文化祭を開催しました。

ステージは、大國尚舞会の皆さんによる踊りで開幕。デイケアの利用者によるコーラスと入院患者様による踊りやギターなどの発表や、病院職員による踊りが披露されました。

また、習字、押し花、人形など患者様の作品展示、屋台やバザーも開かれ、大変賑やかな文化祭でした。多数のご来場ありがとうございました。



踊りを披露する職員